

ふるさと歴史散歩

〔第69回〕 道隆寺⑫

遺跡の発掘調査には、遺跡測量図面を作る必要があり、この図面で重要なのは標高（海拔高度）を入れることだ。図面の作成は、府中町役場にある地図から遺跡に最も近いベンチ・マークを探し、そこから遺跡まで引つ張ってくる作業から始まる。

道隆寺下遺跡の発掘調査は平成7年7月に始まった。この年の夏は例年になく好天気にも恵まれ、日照りが続いた。当時の作業日誌を見ると発掘期間中、雨で中止となったのは二日間しかない。それだけに連日猛暑の日々で、お天道様と地面からの照り返しで、正午近くの表面温度が五十度に達する、厳しい環境下での発掘となった。考古学には野外調査がつきものであり、決して書斎の学問ではないのである。

考古学は学問としては歴史の浅いものである。そのためか、文献史料を中心とする歴

史学者のなかには、考古学は歴史学の補助学とか、考古学は歴史でない、と極論するものもある。しかし文字で書かれた史料は、古代になればなるほど少ないうえに、執筆または編纂した人たちが、どんな歴史観やスタンスに立っているのか知らなければ、正しい歴史の理解は得られない。例えば、中国皇帝の正統の歴史を記述した司馬遷の『史記』は、以後『漢書』、『後漢書』と続き、ラストエンペラーで有名な二十世紀清王朝の歴史『清史稿』を加えた「二十六史」歴代王朝の歴史の編纂スタイルとなった、官製の歴史である。わが国の『日本書紀』は、神話から始まって歴代天皇統治の正統性を記述したものである。

考古学は、文字のない時代、つまり人類が地球上に現れてから、人間が残した痕跡を調査・研究し、土器や石器などの「もの」と貝塚や住居跡などの遺構を通して、その時代の

人々の生活の営みや文化、価値観、歴史的事実を明らかにする独立した学問である。近年、遺跡から出土する動植物遺存体の研究から、どの季節にどんなものを食べていたのかさえ明らかになっている。ともかく、文字史料の全くない先史時代の研究には、考古学が最も有効な学問であることに間違いはない。

府中町文化財

保護審議会会長

横田 禎昭



遺跡全景



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター ☎286-3266



家庭ごみなどの持ち込み

お盆の期間中は、環境センターへのごみの持ち込みが多く、大混雑が予測されます。次の事項に注意して、正しい方法で持ち込んでください。

◆受付時間 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前9時～11時30分・午後1時～3時30分
※住所を確認できるものを持参してください。（運転免許証、健康保険証、ハガキ等）

◆持ち込みの方法 通常収集している各種のごみはすべて自己搬入できます。ごみステーションに出すときと同じ方法であらかじめ分別してください。分別できないごみは受け付けできません。また、様々なものを多量に持ち込む場合、場内で降ろすのに時間がかかります。後から来る人にお待ちいただくこととなりますので、速やかに降ろせるようご協力をお願いします。

◆注意事項

- 黒い袋では搬入できません。透明または半透明の袋を使用してください。（ダンボール箱等は不可）
- 缶、ビン、洗剤、塗料等で中身のあるものは搬入できません。また、スプレー缶は必ず中身を使い切って穴を開けずに出してください。

◆持ち込みできないもの（購入先または専門の処理業者等へ相談を）

- ガス類、液体もの（塗料液、油、灯油、石油、ガソリン、エンジンオイル、シンナー、洗剤液等）
- 薬物、毒物、劇物、危険物等
- 医療系廃棄物等
- 産業廃棄物（業者によるせん定した枝葉、家の改築等による廃棄物等も含む）
- 他の市町村で発生したごみ
- その他、町で処理できないもの（ソーラーシステム、金庫、タイヤ、石こうボード等）